

はないはずですから」

**伊勢谷**「もちろん今、銃を向け合っている人たちは、まずはそれを置く必要がありますよね。でも、日本に暮らす僕らの手には銃なんかなくて、それを踏まえた上で平和を考えないと、と思います。それにはそれぞれの個が成長しないとならないし、個人個人がしっかりと平和についての意識を持てるように勉強しなくてはけません。だから今回、ピースデイのイベントに参加すると、「意識をすること」のいいきっかけになるんじゃないかな。そんな願いもこめて、9月21日はMCを務めます」

**関根**「伊勢谷くんも番組内で、平和について演説すればいいのに(笑)」

**伊勢谷**「考えておきます(笑)」

KAI presents

# EARTH RADIO

地球のことは、自分ごと。

「地球は僕らの家、地球のことは自分ごと」。これはInterFM「EARTH RADIO」のテーマです。EARTH RADIOは、俳優で、リバーズ・プロジェクト代表の伊勢谷友介さんナビゲートのもと、日本や世界各地を旅し、出会った人々の声を届ける、月1回のスペシャルプログラム。旅で出会うのは、「東京で暮らす私たちが地球人としてできることは何か?」のヒントをくれる人々です。メトロミニッツではそんな彼らの声を文字にして、連載すること早1年2カ月。今回は、その特別編。テーマは、「ピースデイ」です。

2011.9.21 PEACE DAY

SPECIAL  
EDITION

Photo 久家靖秀 Text 朴順梨(インタビュー)  
撮影協力 WIRED CAFE<>FIT

## 「ピースデイ」とはどんな日?

国連が定めた「国際平和の日」(International Day of Peace)の通称で、「毎年9月21日だけはあらゆる暴力をなくし、人を殺さない日になろう。戦争や紛争も、休戦を」という1日です。さかのぼれば1981年、国連が宣言をした頃には毎年9月の国連総会開会日、「平和」の理念を記念し、強化する日のことでした。現在の内容にシフトしたのが2001年。仕掛けたのは、イギリス人映画監督ジェレミー・ギレー(Jeremy Gilley)。争いの絶えない世界を見かねたジェレミーは1人で国連を説得し、ダライ・ラマの心をも動かし、2001年9月7日、非暴力の「ピースデイ」制定にこぎつけたのでした。しかしその4日後、ニューヨークの国連広場で新たなピースデイ立ち上げのセレモニーを予定していた9月11日の朝に、奇しくも同時多発テロが発生。これにより、ジェレミーの熱意はさらに加速し、翌年のピースデイには、なんとアフガニスタンの停戦を実現。また、その道のりを記録したドキュメンタリー映画を製作し、以来、世界中にピースデイの輪はじんわり広がっていきました。で、今年、日本でもいよいよピースデイのイベントが様々な発生。EARTH RADIOも企画します。



THE DAY AFTER PEACE

KAI presents

**EARTH RADIO** Inter FM(76.1 MHz)  
毎月最終土曜日 / 次回の放送は8月27日  
18:00~19:00 ON AIR!!

番組の協賛企業であるKAIの企業理念に、「社会のしあわせ」が写ります。それは、「PEACE=平和」とは切っても切れない関係。そこで8月は、「PEACE DAY」をテーマにオンエア。なお、HPでは過去の放送が聴取可能です。  
<http://www.kaitouchearth.jp/radio>



私たちは、これから“平和”とどう付き合い、9月21日をいかに迎えたらいいのでしょうか？

右ページの通り、今年はいわば日本の“ピースデ  
イ元年”とも言える年。各イベントに是非ともご  
注目いただきたいわけですが、ここではジェレ  
ミー作品を日本で紹介し、「国際平和映像祭」  
を主催する関根健次さんと、EARTH RADIOの  
ナビゲーターであり、イベント「PEACE DAY  
TOKYO」でMCを務める伊勢谷友介さんのお2  
人による対談をご紹介します。

**関根**「例えばWEBページ上をクリックするだけ  
で、協賛企業が1円の募金を肩代わりしてくれる  
募金事業など、僕がやっているUNITED PEOP  
LE CORP.という会社は人と人をつないで世界の  
課題を解決することを目的としています。そんな

仕事をしている中でジェレミーの映画に出合っ  
て、すごい衝撃を受けました。『1日でも、世界中  
から戦争や紛争をなくそう』という思いを持った  
人が1人で国連に乗り込んで、本当にアフガン停  
戦を実現してしまう。その信念に触れて、僕も何  
かしたいと思うようになったんです。だから年に  
一度、平和について考える日を日本でも作られ  
ばと思い、『国際平和映像祭』を企画しました。  
ジェレミーについて、伊勢谷君はどう思った？」

**伊勢谷**「彼の『自分は正しい』という信念のまま  
に、結末を想定しないままでも動いてしまう情熱  
は、僕に希望と勇気を与えてくれました。僕が  
やっているリバース・プロジェクトは、『人類が地  
球に生き残るために継続できる活動とは、一体

何だろう』というものを考えることがコンセプトで  
すが、まだ道の途中を歩んでいる状態のプロジェ  
クトで、完全な着地点は見えていなくて。だから  
ジェレミーの、何よりその初期衝動に突き動かさ  
れて動く姿は、とても励みになりますね」

**関根**「平和以前に、なぜ人は自分たちを守るの  
に武装してしまうのか。それは恐怖が先に立つ  
からだと思うんですけど、その気持ちを乗り越  
えて、互いに銃を捨てられる世界を作るために  
は、まず暴力では何も解決しないというように  
心をシフトする必要があると思うんです。『非暴  
力で世界を変えるなんて、無理に決まってる』と  
思う人もいるかもしれないけれど、ガンジーや  
キング牧師の功績を考えると、決して不可能で

▶ EVENT 1

ジェレミー作品と平和な映像  
UFPFF国際平和映像祭

9月11日(日)～21日(水)、ジェレミー・ギレー監督による、アフガン戦争1日  
停戦までの道のりを記録した映画『THE DAY AFTER PEACE』をはじめ、関  
連作品、全国の学生から「平和またはサスティナビリティ」をテーマに公募し  
て選ばれた作品を上映する映像祭。会場は「横浜BLITZ」を中心に、全国各  
所で開催します。詳しくは、国際平和映像祭のHPをご確認ください。  
問い合わせ/ユナイテッドピープル株式会社(運営事務局)  
<http://www.ufpff.com/>

▶ EVENT 2

EARTH RADIOによる、対話と音楽ライブ  
PEACE DAY TOKYO

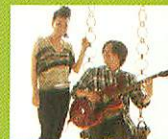
EARTH RADIOのイベント「PEACE DAY TOKYO」の  
テーマは、「日本におけるPEACEとは何か?」。キー  
ワードは、「寛容・対話」です。今や人々の価値観やラ  
イフスタイルは多様化し、日本と世界の関係軸も過去  
のそれより随分複雑になっていますが、たとえば友人や  
家庭、職場など、自分の身近にある小さなコミュニ  
ティ内でも意見の相違はあるもので、常に心を開いて  
相手の話を聞く姿勢「対話」が大切です。対話こそ、よ  
り良い未来のためのアイデア発想へつながる、第一歩  
のアクションとなるのでは?という思いを、本イベント  
を通じて発信していきます。

プレイガイド/びあ、ローソンチケット、eプラス  
後援/InterFM 制作/DISK GARAGE  
問い合わせ/DISK GARAGE  
☎03-5436-9800 (平日12:00～19:00)

日時/9月21日(水) 18:00開場、19:00開演  
会場/DAIKANYAMA UNIT(東京都渋谷区恵比寿西1-3  
4-17 Za HOUSEビルB2F ☎03-5459-8630)  
イベント内容/伊勢谷友介(MC)と3組のアーティスト・ラ  
イブに加え、終演後は隣接するカフェUNICEにて『THE  
DAY AFTER PEACE』の上映と、伊勢谷友介と谷崎テトラ  
を交えたダイアローグ・セッションを行います(飲食費は自  
己負担)。また、同時期に開催されるgreenz.jp主催のトー  
クイベント「green drinks」にも運動します。  
ライブアーティスト/Port of Notes, bonobos, 宮城愛ほか



bonobos



Part of Notes

チケット代/2,500円(オールスタンディング)  
※入場時、要ドリンク代(別途500円)。入場料は3歳～かかります

詳細は、HPをご確認ください。  
<http://www.kaitouchearth.jp/peaceday>

右/伊勢谷友介さん

1976年生まれ。俳優、映画監督、  
美術家。株式会社リバース・プロ  
ジェクト代表。東京藝術大学修  
士課程修了。1978年『ワンダフル  
ライフ』(是枝裕和監督)でデ  
ビュー。2002年には映画『カクト』  
で初監督。2008年、リバース・プ  
ロジェクトを立ち上げた

左/関根健次さん

1976年生まれ。米国ヘロイト大学  
卒業。2002年、日本で起業した  
「ユナイテッドピープル株式会社」  
では、世界の問題解決を目指す。  
2009年より映画配給事業を創  
始。今年2月には、バン格拉デシュ  
にストリートチルドレン支援目的  
のレストランをオープンさせた